

**問題1** 以下のベクトル  $\vec{a}$  の大きさと、その方向を向いた単位ベクトルを求めよ。

$$(1-1) \vec{a} = \begin{pmatrix} 3 \\ 0 \\ -4 \end{pmatrix}$$

ベクトルの大きさは、 $|\vec{a}| = \sqrt{3^2 + 0^2 + (-4)^2} = \sqrt{25} = 5$   
単位ベクトルは、元のベクトルを大きさに割って、 $\vec{e} = \frac{\vec{a}}{|\vec{a}|} = \frac{1}{5} \begin{pmatrix} 3 \\ 0 \\ -4 \end{pmatrix}$

$$(1-2) \vec{a} = \begin{pmatrix} 1 \\ 1 \\ -2 \end{pmatrix}$$

ベクトルの大きさは、 $|\vec{a}| = \sqrt{1^2 + 1^2 + (-2)^2} = \sqrt{6}$   
単位ベクトルは、元のベクトルを大きさに割って、 $\vec{e} = \frac{\vec{a}}{|\vec{a}|} = \frac{1}{\sqrt{6}} \begin{pmatrix} 1 \\ 1 \\ -2 \end{pmatrix}$

**問題2** 3次元空間に3点 A:(0, -1, -1), B:(1, -2, 1), C:(-1, 0, -1) がある。

(2-1) ベクトル  $\vec{AB}$  を求めよ。

$$\vec{AB} = \begin{pmatrix} 1 \\ -2 \\ 1 \end{pmatrix} - \begin{pmatrix} 0 \\ -1 \\ -1 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 1 \\ -1 \\ 2 \end{pmatrix}$$

(2-2) ベクトル  $\vec{AB}$  の大きさを求めよ。

$$|\vec{AB}| = \sqrt{1^2 + (-1)^2 + 2^2} = \sqrt{6}$$

(2-3) A→B の方向を向いた単位ベクトルを求めよ。

単位ベクトルは、元のベクトルを大きさで割って、

$$\vec{e}_{AB} = \frac{\vec{AB}}{|\vec{AB}|} = \frac{1}{\sqrt{6}} \begin{pmatrix} 1 \\ -1 \\ 2 \end{pmatrix}$$

(2-4) B→C の方向を向いた単位ベクトルを求めよ。

$$\vec{BC} = \begin{pmatrix} -1 \\ 0 \\ -1 \end{pmatrix} - \begin{pmatrix} 1 \\ -2 \\ 1 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} -2 \\ 2 \\ -2 \end{pmatrix}$$

ベクトルの大きさは、 $|\vec{BC}| = 2\sqrt{(-1)^2 + 1^2 + (-1)^2} = 2\sqrt{3}$

$$\vec{e}_{BC} = \frac{\vec{BC}}{|\vec{BC}|} = \frac{1}{\sqrt{3}} \begin{pmatrix} -1 \\ 1 \\ -1 \end{pmatrix}$$

(2-5) 大きさが3で、A→B の方向を向いたベクトルを求めよ。

$$3\vec{e}_{AB} = \frac{\sqrt{6}}{2} \begin{pmatrix} 1 \\ -1 \\ 2 \end{pmatrix}$$

(2-6) 大きさが6で、C→B の方向を向いたベクトルを求めよ。

$$-6\vec{e}_{BC} = 2\sqrt{3} \begin{pmatrix} 1 \\ -1 \\ 1 \end{pmatrix}$$

**問題 3** 3次元空間の点  $P = \begin{pmatrix} x \\ y \\ z \end{pmatrix}$  の位置ベクトルを  $\vec{r}$ 、原点からの距離を  $r$  とする。

(3-1)  $r$  を  $x, y, z$  を用いて表せ。

$$r = \sqrt{x^2 + y^2 + z^2}$$

(3-2) 位置ベクトル  $\vec{r}$  の方向を向いた単位ベクトル  $\vec{e}$  を,  $r, \vec{r}$  を用いて表せ.

単位ベクトルを作るには, 大きさを割ってやればよいから,  $\vec{e} = \frac{\vec{r}}{r}$

(3-3) 点 P から原点に向かい, 大きさが  $f$  のベクトル  $\vec{F}$  を求めよ.

点 P から原点に向かう方向の単位ベクトルは  $-\vec{e}$  である.  
この方向で大きさが  $f$  であるから,  $\vec{F} = f(-\vec{e}) = -f\frac{\vec{r}}{r}$

**問題 4** 3次元空間内の3点 O, A, B の座標を, O:(0, 0, 0), A:(1, -3, 2), B:(-1, 1, -2) とする.  
ベクトル  $\vec{a}, \vec{b}$  を,  $\vec{a} = \vec{OA}, \vec{b} = \vec{OB}$  で定める.

(4-1)  $\vec{a}$  と  $\vec{b}$  の内積  $\vec{a} \cdot \vec{b}$  を計算せよ.

$$\vec{a} \cdot \vec{b} = 1 \times (-1) + (-3) \times 1 + 2 \times (-2) = -1 - 3 - 4 = -8$$

(4-2) 点 B を通り, ベクトル  $\vec{a}$  に平行な直線の方程式を求めよ.

直線上の任意の点を Q:  $(x, y, z)$  とおくと,

$$\vec{OQ} = \vec{OB} + t\vec{a}$$

と書ける. ここで,  $t$  は任意の実数である. したがって,

$$\begin{pmatrix} x \\ y \\ z \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} -1 \\ 1 \\ -2 \end{pmatrix} + t \begin{pmatrix} 1 \\ -3 \\ 2 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} -1+t \\ 1-3t \\ -2+2t \end{pmatrix}$$

より,

$$x = -1 + t,$$

$$y = 1 - 3t,$$

$$z = -2 + 2t$$

となる. これから  $t$  を消去すれば求める直線の式になる.  $t$  について解くと,

$$t = x + 1 = -\frac{y-1}{3} = \frac{z+2}{2}$$

なので、求める直線の式は、

$$x + 1 = -\frac{y - 1}{3} = \frac{z + 2}{2}$$

となる。

(4-3) 点Bを通り、ベクトル $\vec{a}$ に垂直な平面の方程式を求めよ。

求める平面上の任意の点をQ:  $(x, y, z)$ とおくと、ベクトル $\overrightarrow{BQ}$ はこの平面内にあるので、ベクトル $\vec{a}$ と常に直交している。よって、

$$\vec{a} \cdot \overrightarrow{BQ} = 0$$

と書ける。ここで、

$$\vec{a} = \begin{pmatrix} 1 \\ -3 \\ 2 \end{pmatrix}, \quad \overrightarrow{BQ} = \begin{pmatrix} x + 1 \\ y - 1 \\ z + 2 \end{pmatrix}$$

より、

$$0 = (x + 1) - 3(y - 1) + 2(z + 2) = x - 3y + 2z + 8$$

となる。よって、求める平面の式は、

$$x - 3y + 2z + 8 = 0$$

となる。

(4-4) 3点O, A, Bを通る平面の方程式を求めよ。

求める平面上の任意の点をQ:  $(x, y, z)$ とおくと、ベクトル $\overrightarrow{OQ}$ は $\vec{a}, \vec{b}$ の線形結合で

$$\overrightarrow{OQ} = \alpha \vec{a} + \beta \vec{b}$$

と書ける。したがって、

$$\overrightarrow{OQ} = \alpha \begin{pmatrix} 1 \\ -3 \\ 2 \end{pmatrix} + \beta \begin{pmatrix} -1 \\ 1 \\ -2 \end{pmatrix}$$

より、

$$x = \alpha - \beta, \quad y = -3\alpha + \beta, \quad z = 2\alpha - 2\beta$$

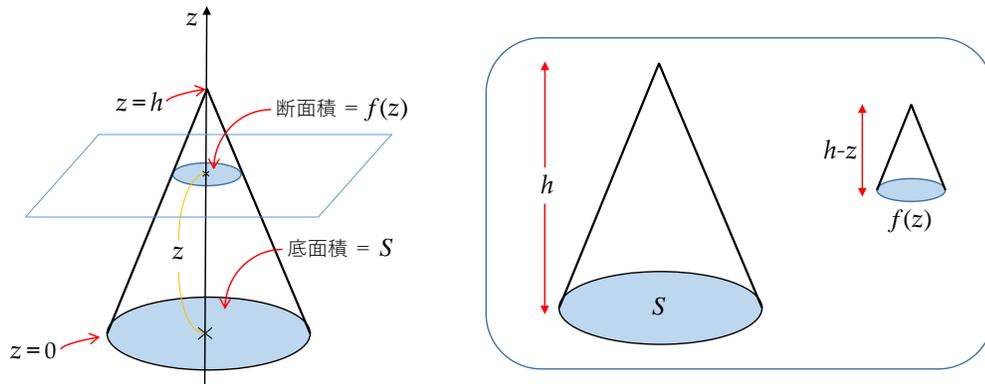
となる。これから $\alpha, \beta$ を消去して、求める平面の式は

$$2x - z = 0$$

となる。

問題5 以下の量を積分計算によって求めよ (答えのみは不可)。

(5-1) 底面積  $S$ , 高さ  $h$  の円錐の体積  $V$ 。



円錐を  $z$  軸に垂直な平面で薄切りにする。十分薄く切れば、ひとつひとつの立体は円柱とみなすことができる。高さ  $z$  の部分の円柱の体積は、そこでの断面積  $f(z) \times$  厚み  $dz$  で求まる。

右図を見て分かるように、断面積  $f(z)$  は面積の相似比

$$S : f(z) = h^2 : (h - z)^2$$

より、

$$f(z) = \frac{S}{h^2}(h - z)^2$$

で与えられる。したがって、円柱の体積  $dV$  は

$$\begin{aligned} dV &= f(z)dz \\ &= \frac{S}{h^2}(h - z)^2 dz \end{aligned}$$

となる。これを全て足し合わせて、

$$\begin{aligned} V &= \int dV \\ &= \int_0^h f(z)dz \\ &= \frac{S}{h^2} \int_0^h (h - z)^2 dz \\ &= \frac{S}{h^2} \left[ -\frac{1}{3}(h - z)^3 \right]_0^h \\ &= \boxed{\frac{hS}{3}} \end{aligned}$$

となる。

(5-2) 半径  $r$  の球の表面積  $S$ .

前問と同様に  $z$  軸に垂直な平面で細かく切り、一つの帯に注目する。帯の周長は  $2\pi r \cos \theta$ 、幅は  $r d\theta$  なので、微小帯の面積は

$$dS = 2\pi r^2 \cos \theta d\theta$$

となる。これを全て足し合わせて、

$$\begin{aligned} S &= \int dS \\ &= \int_{-\frac{\pi}{2}}^{\frac{\pi}{2}} 2\pi r^2 \cos \theta d\theta \\ &= \boxed{4\pi r^2} \end{aligned}$$

となる。

(5-3) 半径  $r$  の球の体積  $V$ .

球を薄い球殻に細かく切る。半径  $a$  の球殻の表面積は  $4\pi a^2$ 、厚みは  $da$  なので、微小球殻の体積は

$$dV = 4\pi a^2 da$$

となる。これを全て足し合わせて、

$$\begin{aligned} V &= \int dV \\ &= \int_0^r 4\pi a^2 da \\ &= \boxed{\frac{4}{3}\pi r^3} \end{aligned}$$

となる。